

かみかつ

12 2020
月号

上勝町消防団 防火パレード



もくじ

文部科学大臣表彰受賞 ほか	2
地域おこし協力隊 新規着任 ほか	3
「健康の達人」になろう	4
こんにちは保健師です	5
ゼロ・ウェイスト宣言	6

案内板	7~15
町民の詩歌 ほか	16
戸籍の窓口 ほか	17
「ナラ枯れ」について	18

害虫による広葉樹の伝染病「ナラ枯れ」について

「ナラ枯れ」とは、6月から9月頃にカシノナガキクイムシ(写真、体長5mm程度)が、健全なコナラ・ミズナラ等のナラ類やシイ・カシ類の樹木の幹に穴を開けて内部に入り産卵の準備を始める時に、カシノナガキクイムシの体に付着したナラ菌が内部に持ち込まれ、このナラ菌が樹体内に広がり、通水を阻害された木が衰弱し、やがて枯死してしまう広葉樹の伝染病です。

しかし、コナラの場合ナラ菌に感染すると2~3割が枯死しますが、残りの7~8割は生き残ります。カシノナガキクイムシが侵入しても多くが生き残るので、その地域の森林を絶滅させるような被害が発生するものではなく、3~5年程度で終息すると言われておりナラ枯れが人体や他の動物、ナラ類、シイ・カシ類以外の植物への影響が出た事例はありません。

この「ナラ枯れ」は、2000年頃から日本各地で発生が確認されており、今年も本県でも徳島市や鳴門市、小松島市、勝浦町などで広範囲にわたる被害が報告されています。本町でも、小規模ながらも初めて被害が確認されました。今年の夏は高温少雨が続き影響で、カシノナガキクイムシが活動しやすい状況であったと考えられています。

森林に立ち入る際はヘルメットを着用するなど、枯れ発生による枝落下や倒木の危険に注意する必要があります。

今後、県関係機関等と情報を共有し、被害状況の把握や防除・駆除等の対策に活用してまいりますので、ナラ枯れが原因と思われる被害木を発見し、人的・物的被害が想定される場合は産業課までご連絡ください。

カシノナガキクイムシによるナラ枯れの特徴

- (1) 7月から9月頃に葉が紅葉し枯れる。(大径木に多い。)
- (2) 幹に直径1.5mm~2.0mmの多くの孔がある。
- (3) 幹の根元に大量のフラス(木屑と虫の排泄物が混ざった粉状のもの)が溜まっている。



◀カシノナガキクイムシ(雌)
(森林総合研究所提供)



町内のナラ枯れの様子



被害木のフラスの状況



突入孔の状況



孔道の様子(森林総合研究所提供)

【お問い合わせ】 産業課 ☎46-0111 IP050-3438-8071